

第1章 国立大学等施設の重要性と課題

1. 教育研究の基盤としての施設の重要性

- ・国立大学等の施設は、教育研究活動を支える基盤
- ・魅力ある教育研究環境は、産学官連携や国際交流を推進
- ・キャンパスは、国立大学等の特色・個性を表す「顔」
- ・大学の機能強化への対応
- ・国民の財産(施設)を長寿命化し、継承する責任

2. 国立大学等施設の現状と課題

- ・既存施設の老朽化の進行
- ・新たな施設需要の増加
- ・施設に係るコストの増加
- ・経営者層を中心とした積極的な施設マネジメントの必要性

第2章 施設マネジメントの基本的な考え方

1. 前提となる考え方

- ・施設は、国立大学等が持つ経営資源の一つ
- ・施設マネジメントは、大学経営の一環として実施するもの

2. 施設マネジメントの目的

教育研究活動に対応した適切な施設環境の提供を通じた、国立大学等の理念やアカデミックプランの実現

- ・最小限の投資による最大の効果をあげるため、**戦略的な施設マネジメントの実施**が必要

3. 施設マネジメントの体制

全学的体制により実施

- ・全学的体制の構築には
 - ①強いリーダーシップを持ったトップマネジメント
 - ②横断的な実務体制の構築が必要

4. 施設マネジメントの内容

施設の企画・計画、整備、管理の全般にわたる一連の取組

- ・実施にあたっては、**PDCAサイクルの確立**が必要

第3章 戦略的な施設マネジメントの実施手法

1. 教育研究等にもたらす効果の想定と事後の検証・評価

- ・教育研究等にもたらす効果を想定し施設目標を設定
- ・教育研究にもたらす効果を評価指標によって検証・評価し、大学経営の方向性を確認

2. 情報を活用した経営判断

- ・財務状況や既存施設の現状、利用者ニーズを把握し、課題抽出や解決策の検討を行う
- ・的確な判断ができるような情報提供を受けることが必要

3. 3つの視点(クオリティ、スペース、コスト)を踏まえた実施方策の検討と必要な財源の確保

- ・施設マネジメントの3つの視点(クオリティ、スペース、コスト)から、施設整備・管理の実施方策を検討
- ・財源の確保にあたっては、基本的な方針を定め、施設のライフサイクルコストの縮減を考慮した具体的な方策を検討
- ・各実施方策と財源確保の方策を決定し、施設整備・修繕計画を策定

第4章 施設マネジメントの推進方策

1. 国立大学等の推進方策

人材育成、人材活用、業務のアウトソーシング、持続的なPDCAサイクル、普及啓発

2. 国(文部科学省)が行う主な推進方策

情報提供、推進のための環境づくり、施設マネジメントの理解促進

第5章 戦略的な施設マネジメントの取組事例

1. 国立大学等の取組

2. 私立大学・海外の大学の取組

第1章 国立大学等施設の重要性と課題

1. 教育研究の基盤としての施設の重要性

- ・国立大学等の施設は、教育研究活動を支える基盤
- ・魅力ある教育研究環境は、産学官連携や国際交流を推進
- ・キャンパスは、国立大学等の特色・個性を表す「顔」
- ・大学の機能強化への対応
- ・国民の財産(施設)を長寿命化し、継承する責任

2. 国立大学等施設の現状と課題

- ・既存施設の老朽化の進行
- ・新たな施設需要の増加
- ・施設に係るコストの増加
- ・経営者層を中心とした積極的な施設マネジメントの必要性

第2章 施設マネジメントの基本的な考え方

1. 大学経営の一環としての施設マネジメント

- ・経営資源を活用し、戦略的な施設運営が必要
- ・施設マネジメントは、企画・計画、整備、管理の全般にわたる一連の取組
- ・財務戦略との整合を図り、教育研究環境を提供するため、最小限の投資による最大の効果をあげるための戦略的な施設マネジメントの実施が必要

2. 全学的体制の構築

- ・強いリーダーシップを持ったトップマネジメントが必要
- ・横断的な実務体制を構築することが重要

3. 施設マネジメントのPDCAサイクル

- ・理念の実現を目的としたPDCAサイクルの確立
- ・施設マネジメントの3つ(質、量、費用)の視点

4. 教育研究等にもたらす効果の想定

- ・施設マネジメントは教育研究等に成果をもたらす手段
- ・教育研究等にもたらす効果を想定し施設目標を設定
- ・教育研究にもたらす効果を評価指標によって検証・評価し、大学経営の方向性を確認

5. 経営判断に必要な情報の収集・分析

- ・財務状況や既存施設の現状、利用者ニーズを把握し、課題抽出と解決策の検討
- ・経営者層が的確な判断をできるような情報提供

6. 施設のライフサイクルコスト

- ・保有施設の健全な維持が重要
- ・健全な維持には将来にわたり費用が必要
- ・維持費用の把握、財源の確保が必要
- ・増築する際は、管理運営費等の負担方法も含めて検討

第3章 施設マネジメントの実施手法

1. 教育研究等にもたらす効果を想定した施設目標の設定

- ・それぞれの事業要望について、教育研究等にもたらす効果を想定した施設目標の設定
- ・評価指標を設定し、教育研究等にもたらす効果を評価できることが重要
- ・施設目標や教育研究等にもたらす効果を学内に周知

2. 実施方策の検討と財源の確保

- ・施設目標に関する施設の基本情報、利用状況、利用者ニーズを把握
- ・クオリティの確保、スペースの創出、コストの適正化の観点から実施方策を検討
- ・実施方策を踏まえ、財源を確保し、施設整備・修繕計画を策定

3. 事業の実施

- ・施設整備・管理計画に基づき施設整備・管理を実施
- ・施設整備・管理計画を学内に周知し、関係者の理解・協力を得る

4. 教育研究等にもたらす効果の検証・評価

- ・実施事業の進捗状況の確認
- ・施設整備・管理の成果の検証・評価
- ・教育研究等にもたらす効果の中・長期的なモニタリング
- ・検証・評価結果を学内に公表
- ・検証・評価の結果、問題が生じた場合は改善。また、教育研究等にもたらす効果の次期の想定やキャンパスマスタープランに検証・評価結果を反映
- ・第三者評価の活用

第4章 施設マネジメントの推進方策

1. 国立大学等の推進方策

- 人材育成、人材活用、業務のアウトソーシング、持続的なPDCAサイクル、普及啓発

2. 国(文部科学省)が行う主な推進方策

- 情報提供、推進のための環境づくり、施設マネジメントの理解促進

報告書骨子(案)の見直しの考え方について

3/7検討会(第4回)終了後

第1章 国立大学等施設の重要性と課題

1. 教育研究の基盤としての施設の重要性
2. 国立大学等施設の現状と課題

第2章 施設マネジメントの基本的な考え方

1. 大学経営の一環としての施設マネジメント⇒第2章1,2,4へ
 - ・経営資源を活用し、戦略的な施設運営が必要
 - ・施設マネジメントは、企画・計画、整備、管理の全般にわたる一連の取組
 - ・財務戦略との整合を図り、教育研究環境を提供するため、最小限の投資による最大の効果をあげるための戦略的な施設マネジメントの実施が必要
2. 全学的体制の構築 ⇒第2章3へ
3. 施設マネジメントのPDCAサイクル
 - ・理念の実現を目的としたPDCAサイクルの確立 ⇒第2章4へ
 - ・施設マネジメントの3つ(質、量、費用)の視点 ⇒第3章3へ
4. 教育研究等にもたらす効果の想定 ⇒第3章1へ
5. 経営判断に必要な情報の収集・分析⇒第3章2へ
6. 施設のライフサイクルコスト ⇒第3章3へ

第3章 施設マネジメントの実施手法

1. 教育研究等にもたらす効果を想定した ⇒第3章1へ
施設目標の設定
2. 実施方策の検討と財源の確保 ⇒第3章2,3へ
3. 事業の実施 ⇒削除
4. 教育研究等にもたらす効果の検証・評価 ⇒第3章1へ

第4章 施設マネジメントの推進方策

1. 国立大学等の推進方策
2. 国(文部科学省)が行う主な推進方策

見直し案

第1章 国立大学等施設の重要性と課題

1. 教育研究の基盤としての施設の重要性
2. 国立大学等施設の現状と課題

第2章 施設マネジメントの基本的な考え方

1. 前提となる考え方
 - ・施設は、国立大学等が持つ経営資源の一つ
 - ・施設マネジメントは、大学経営の一環として実施
2. 施設マネジメントの目的
教育研究活動に対応した適切な施設環境の提供を通じた、国立大学等の理念やアカデミックプランの実現
 - ・最小限の投資による最大の効果をあげるため、**戦略的な施設マネジメントの実施**が必要
3. 施設マネジメントの体制
全学的体制により実施
 - ・全学的体制の構築には
 - ①強いリーダーシップを持ったトップマネジメント
 - ②横断的な実務体制の構築が必要
4. 施設マネジメントの内容
施設の企画・計画、整備、管理の全般にわたる一連の取組
 - ・実施にあたっては、**PDCAサイクルの確立**が必要

第3章 戦略的な施設マネジメントの実施手法

1. 教育研究等にもたらす効果の想定と事後の検証・評価
2. 情報を活用した経営判断
3. 3つの視点(クオリティ、スペース、コスト)を踏まえた実施方策の検討と必要な財源の確保

第4章 施設マネジメントの推進方策

1. 国立大学等の推進方策
2. 国(文部科学省)が行う主な推進方策

第5章 戦略的な施設マネジメントの取組事例

1. 国立大学等の取組
2. 私立大学・海外の大学の取組